

国外実態調査報告書

テーマ : ルクセンブルク大学、在ルクセンブルク日本大使館への訪問とスタートアップ支援体制の調査
ゼミ名 : 川端 千暁 ゼミ
調査日 : 2023年8月26日(土)~8月31日(木)
調査先 : 【ルクセンブルク】ルクセンブルク大学、在ルクセンブルク日本大使館
授業科目名 : 演習 I・II
参加学生数 : 1名(3年生)

調査の趣旨(目的)

今回の海外実態調査は、ルクセンブルク大学と在ルクセンブルク日本大使館を訪問し、教育や文化に関する意見交換を行うことを目的としていました。特にルクセンブルク大学では、研究・教育・文化に関するディスカッションを行い、日本とルクセンブルク間の教育連携強化に向けた知見を得ることが期待されました。加えて、在ルクセンブルク日本大使館では、大使を含む職員と共に、ヨーロッパと日本における文化や教育の違いについて深く議論し、国際的な視点からの教育のあり方について意見を交換しました。この調査は、学生たちの国際的な視野を広げ、将来のプログラムの企画にもつながる重要な機会となりました。

調査結果

2023年8月29日、ルクセンブルク大学の国際センターを訪問し、大学のスタートアップ支援プログラムについて詳細な説明を受けました。同大学では、スタートアップ企業の育成や支援に力を入れており、学生や研究者に対する具体的なサポート体制が整備されています。この説明を通じて、2024年度のプログラムに向けた連携の可能性が強調され、日本の学生がルクセンブルクのスタートアッププログラムに参加する機会が今後さらに広がることが期待されています。

また、訪問時には、参加学生たちも積極的に英語で質問を行い、特にスタートアップ支援の具体的な事例について議論が交わされました。このような積極的な交流を通じて、学生たちは2024年度のプログラムに対する関心を高め、その参加意欲が確認されました。さらに、翌日の在ルクセンブルク日本大使館訪問でも、文化や教育の違いについて深い議論が行われ、日本とルクセンブルクの教育協力を促進するための有益な知見が得られました。